

JR西労組

WEST UNION

創造・参加・実践

No. 427

WING

福岡地本ニュース

JR西労組福岡地方本部

福岡市博多区博多駅前 1-32-1

TEL 092-483-1148

発行責任者 米村 弘隆

編集責任者 松本 拓馬

春闘と統一地方選挙に向けて意思統一！

今こそ「ひかり」と「のぞみ」と

「かがやき」を取り戻そう！

福岡地方本部は2月23日(木)、リファレンス駅東において第32回地方委員会を開催した。昨年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い規模を縮小して開催したが、今年には感染者数の減少や社会情勢を踏まえ地方委員約30名が一堂に会し、議論を交わす通常開催となった。

米村執行委員長の挨拶では、コロナ収束に向かう中、日々の業務に励んでいただいている組合員への頑張りへの敬意と感謝を申し上げる。また、5月8日のコロナの第5類への引き下げでJR西日本グループの反攻勢への舞台が整い、この難局を乗り越え「ひかり」と「のぞみ」と「かがやき」を取り戻すべく一致団結して、明るい未来へ歩んでいけるよう「①安全確立の取り組み②2023春季生活闘争③離職の歯止め④統一地方選挙」の4点について提起した。

米村執行委員長の挨拶では、信頼を大きく損ねた事やお客様もさることながら当事者である組合員が想像を絶する苦労をしたことは言うまでもない。安全に対して必要な投資と要員確保は惜しむことなく行い、現場の状況をしっかりと把握し再発防止に向けた取り組みを行わなければならない。春闘については3年ぶりに第3四半期決算で赤字を確保した。コスト削減は組合員の努力の結果である。しかしご利用は戻ってきているものの、まだ当初の見通しには届いていない。依然グループ全体の厳しい経営状況は続いており好調な他産業とのギャップの中、厳しい闘いになるであろう。また、社員の離職も歯止めがかからない状況で組合員はこの春闘に注目し、この奮闘に込められるべく交渉に臨まなければならない。

来賓として「はらわ弘」那珂川市議にお越し頂き、日頃の活動支援に對するお礼が述べられた。また「坪田すすむ」氏から出馬への決意と政治に對する自身の熱い想いが述べられた。中央本部から白壁副委員長、石田原組織政治福祉対策部長、田中伸樹員からの閉会のあいさつ

開会にあたり、多田執行委員より黙祷並びに開会の挨拶があり、地方委員23名の出席を資格審査委員会が報告し、委員会が成立していることが厳粛に宣言された。議長には、福岡支部書記長で博多新幹線列車区分会の新田委員を選出しその後の議事進行を委ねた。

「安全については、1月に発生した山陽新幹線小倉〜博多間での死亡労災をはじめ退避不良や墜落、感電による労災等が多発しており、お亡くなりになられた方々への冥福をお祈りする。また近畿圏では雪害による大規模輸送障害を発生させお客様へ多大なるご迷惑をおか

すむ」氏が福岡県議会議員選挙(福岡市博多区)に初挑戦することになった。組織をあげて選挙必勝に取り組むべく、組合員の絶大なる協力を要請する。」との力強い挨拶があった。

文レク法対部長、堀組織・業務部次長にお越しいただき、白壁副委員長から昨今の情勢を踏まえた課題提起をいただいた。議事では経過報告について渡邊副委員長から、運動方針について大戸書記長から提起が行われた。続いて、質疑応答を行い13名の地方委員から安全、春闘、業務課題、選挙など30項目の意見をいただいた後、大戸書記長が総括答弁を行い、すべての議案について満場一致で採択された。最後に、久保田執行委員からの閉会のあいさつ



ける4月の統一地方選挙においては西労組の組織内候補である「坪田すすむ」氏が福岡県議会議員選挙(福岡市博多区)に初挑戦することになった。組織をあげて選挙必勝に取り組むべく、組合員の絶大なる協力を要請する。」との力強い挨拶があった。



【地方委員会意見要約】
○春闘、賃金や各種手当等○乗組み定数削減○客室乗務員の今後の在り方○担務変更の在り方○雪害対策○離職対策○施策の検証○技術継承及び要員確保○分会役員不足○業務システムに関する教育○コスト削減○引越しを伴う異動○資格取得に伴う勤務○業務上必要な教育○ATC夜勤化○半休制度○統一地方選挙○労災発生の伴う工事停止のあり方○地上職の待遇改善○勤務に関する教育○収入を増やす取り組み

